

大阪府立泉南支援学校 令和6年度 第1回 学校運営協議会 記録

1 日 時 令和6年7月3日(水) 10:00~11:30

2 場 所 大阪府立泉南支援学校 会議室

3 次 第

(1) 開会 校長あいさつ

(2) 委嘱状手交

(3) 学校運営協議会委員紹介

(4) 事務局職員自己紹介

(5) 会長・副会長について(以降司会は会長)

(6) 報告

・令和5年度・6年度 学校経営計画及び学校評価について

・令和7年度教科書検定について →委員会にて選定中。第2回の協議会にて報告
なお、令和6年度の教科書については提示

・令和6年度高等部3年生進路先希望状況について

全生徒の希望先:企業就職(A型含む)35% 障がい福祉サービス64% その他1%

B型の障がい福祉サービス事業所の希望者が今年が多い傾向にある

○意見交換 (*質問・意見 →回答)

*児童生徒数と教職員の割合は?

→R5 児童生徒数282人(小104人/教員42人・中87人/教員35人・高91人/教員31人)

R6 児童生徒数307人(小115人/教員47人・中95人/教員34人・高97人/教員34人)

・高等部生徒数が増えると教員が増加するが、中学部卒業後の進学先の選択が増えた分、状況は厳しくなっている。 ・初任の教員が増えている。

*安全・安心な学校づくり、具体的には?

→防災士と相談しながら、災害時における通学バスの一時避難場所を検討。(子どもたちを保護者の方へどう引き渡すか、自主通学の生徒の対応など)校内の危険な場所等をチェック。

PTAと合同で避難訓練実施を計画。備蓄食の確認、見直し等。

・R5~PTA実行委員会、校長と一緒に検討をすすめている。災害時、地域でどう避難するか?地域に子どもたちの特性を知ってもらうことが大事。

*人材育成について

・働き方改革で木曜は一斉定時退庁をめざしている。電話対応は17時まで。(木曜以外は18時頃まで)メンタルヘルスや腰痛を抱える教職員も増えてきている。

・初任者育成のために、少し年上の教員をメンターとしてお互い支えあう仕組みを取り入れている。

・親としては頑張っている先生が休むと申し訳なく思う。事務的な作業に追われて先生達が子どもと向き合ったり、好きなことに取り組んだりする時間が減らないように・・・。

*豊かな進路について

・地域に子ども達のことを広く知ってほしい。あいびあ泉南との連携を具体的に考えていく。

・若い先生方と実習を受け入れている企業とのマッチングや意見交換、集まる機会があれば。あいびあ泉南がそういう拠点になれば、など。